

各委員からの質問事項等一覧

平田委員からの質問

1. 当審議会のごみ減量に関する検討範囲について以下の解釈でよいか。
 - ・ 環境対策や資源の再活用等の狙いもあるが、究極は市のごみ処理負担の軽減で、リサイクルされる資源ごみの減少も当然のことである。
 - ・ 事業者が自ら行なう事業系一般ごみ及び産廃は市の扱いには含まない。
 - ・ 新聞販売店の扱う回収、他資源回収業者の回収、小売店等が行なう自主回収も市の扱い外。

2. ごみの収集は民間に委託しているが、委託料はごみ量の変動に応じて合理的に変動することが可能と解釈してよいか。20年度、21年度の推移をみると減量分が反映されていない。

3. 持込みごみは事業系ごみのようであるが、市民の持込みはないのか。もし市民の持込みを認めていないようであればその理由は。

4. ごみ処理基本計画（改訂）にあるアンケート調査結果のうち、ごみ減量等のアイデア（60～61頁）、情報発信（78～79頁）、自由意見（82～83頁）の進捗状況について今後の会議で説明、検討されるのであれば省略されてもよいが、不可能、他の採択が難しい意見等については理由を含めて説明願いたい。

5. 生ごみ処理機平成3年より3, 182件を補助しているが、現在の実働状況はどの程度か。

・家庭用と業務用それぞれの割合と稼働状況や耐用年数について。

・大型マンションでディスポーザーを使用し、生ごみを抑制している物件数と戸数はどの程度か。

6. 清掃事業概要にある下水処理(9頁、30頁)の発生ケースはどのようなものか。

・し尿汚泥の主な発生は下水管が敷設されていないのか、敷設されていても結合されていないのか。

・前記ディスポーザー使用のマンションの浄化槽汚泥は本資料に含まれるのか。

・本件の支出、手数料収入は清掃事業概要(56～57頁)のごみにかかった経費の数値に含まず別枠か、及びその手数料収入は。

7. 生ごみたい肥化について

・従来の燃えるごみから分離し、別枠収集にしたことで、従来との費用負担差はトン当たりいくらか。また、たい肥製造委託費を負担しても焼却処分するより負担額は減少するのか、その額は。

・出来上がったたい肥は、製造委託先の自由処分か引取義務を有するのか。

8. 各種金額等について

①ごみ等処理費の重量当たり、世帯当たりのデータは発生額ベースで見る値のようであるが、資源等の売却収入を相殺した値の表示により、効果が比較できるのでは。

②ごみ分類区分に対応する収入と支出を明確に表示しネットの負担を明らかにしたほうがよい。

③リサイクル主要経費（44～48頁）の各種委託費の計とごみ処理にかかった経費関係資料の金額と1億円以上の差があるが、施設の維持運営費、減価償却等か、差異の主なものは何か。

④21年度事業者が負担したごみ処理手数料はいくらか。

⑤ 集団回収した資源に対する売却収入はどのようになっているのか。

⑥ 優良粗大ごみ、リプレこだいらの売却収入は。剪定枝、生ごみたい肥の売却収入は発生しないのか。

澤藤委員からの質問

1 東大和市・武蔵村山市とのごみ出しの違いはこういった点か？

2 他市（ごみ先進市）と小平市との違いは？
こういった取り組みをしているのか？

乙幡委員からの質問

長野県でエコクッキングを開催していると聞いたので、情報を集めておいて欲しい。

島委員からの質問

エコセメントの生産に係る費用と、確か市町村で出来あがった製品を買い取る義務があったと思うが、どの位買っているのか？また、どういったものを買っているのか？生産するための費用と売却額の関係は？

山脇委員からの質問

26市の有料化の状況等を教えてもらいたい。排出量と1人1日当りの量も教えて欲しい。